

春夏 spring - summer
2015

vol.
17

春風新聞

shumpu shimbun



春風社

Shumpusha Publishing Co., Ltd.

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 53

横浜市教育会館 3F

TEL (045)261-3168

FAX (045)261-3169

www.shumpu.com

✉ info@shumpu.com

【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 文芸評論 5 / 文学 6 / 写真・音楽・芸術 6 / 自然・健康 7 / 詩歌・俳句 7 / 観光 8 / 環境 8 / 横浜市立大学新叢書 8 / 立教大学人文叢書 8
東洋英和女学院大学社会科学叢書 8 / 総記・辞典・事典 8 / 言語 9 / 心理 9 / 教育 9 / 政治・経済 10 / 社会・歴史 11 / 人類学 12 / シリーズ来たるべき人類学 12
【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しりあがり寿 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10
【コラム】 自著を語る 5 / 横浜 9 / 本屋に行こう 11



深淵は黙然たり。
浅流は噪然。
其噪なる者は声聞多し。
天言はざる乎、
言はざるに非ず。
但高うして
下人に聞こえず。

奥遼との出会い

三浦 『おうすいポケット』には白表紙本と黒表紙本があります。『新井奥遼著作集』の中から選んで入れた一三四の語録本文は共通で、それぞれに奥遼の遺墨から代表的なものを収録、白表紙本には池内先生から、黒表紙本には横須賀先生から巻頭言をいただきました。今日はお二人に、印象に残った語録を三つほど選んでいただき、思うところをお聞かせいただきます。

池内 『新井奥遼著作集』を三浦さんからいただいて奥遼を知りましたが、ある程度読んで、これは自分には全く合わないと思いました。信仰とミステイクなものは言葉では表現できないと僕は思っているのですが、奥遼にとっては両者が大きな要素なのです。

ただ、奥遼は語り口が非常におもしろく不思議で、これは何から来ているのだろうかとも思いました。だから、巻頭言「語録」の誕生

『おうすいポケット 新井奥遼語録抄』（三浦衛、コーダニエル編）の刊行を記念し、八月八日（土）春風社にて、ドイツ文学者の池内紀氏、十文字学園女子大学学長の横須賀薫氏、春風社代表の三浦衛が鼎談を行いました。その模様をお伝えします。

文は人

〈鼎談〉

池内紀

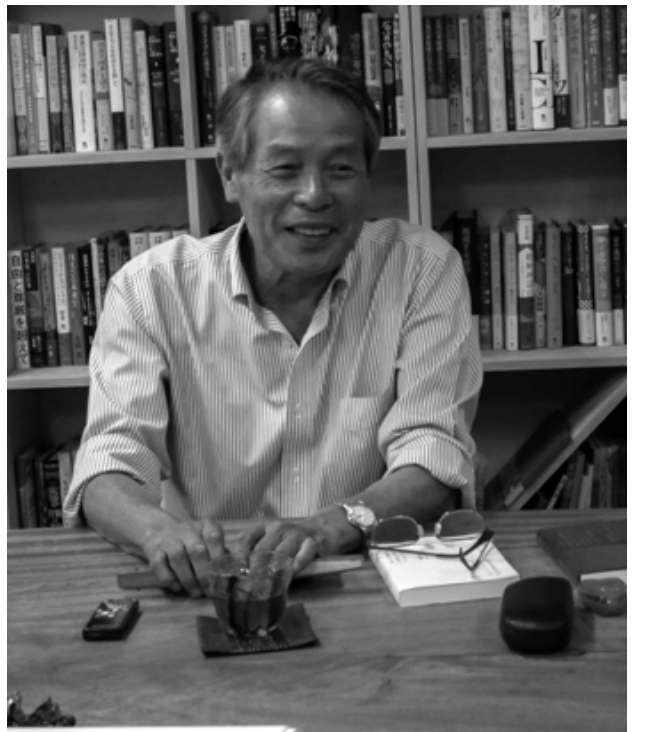
Osamu Ikeuchi

横須賀薫

Kaoru Yokosuka

三浦衛

Mamoru Miura



は、奥遼がこういう語り口を採った理由、語り口のおもしろさ、特殊な要素について書きました。

奥遼はアメリカで三〇年近く過ごしています。明治時代に外国に行った嶋外や荷風は五年ぐらいで帰ってきたのに対して、奥遼は桁外れに長い。明治初めにアメリカに行き、帰ってきたのが五〇いくつかのとき。日本語を明治初期に習得し、それから全く異言語の世界に行つたことで、彼の日本語はあの段階で純粋培養されて留まり、その後の日本人とは全く異質の、非常に特殊なものになりました。

彼が向こうに行っている間に日本語は大きく変化しました。混乱、淘汰、整理を経て、現代の日本語に近づいてきます。たとえば嶋外はまず文語体で始め、漢文脈の強い雅文体を経て、それから自分なりに工夫した口語体にとどりました。明治以後大多数の人がそれまでの日本語の漢文脈を崩し、和文脈と組み合わせ、欧文脈を入れて、そこで初めて日本語は近代化したのですが、奥遼はそれを一切経験していない。だから、奥遼の文章が非常に難しいのは、異質の日本語だからじゃないか。奥遼独自の日本語、あるいは近代化を経していない日本語だというのが、私の関心事です。

三浦 白表紙本の帯にも引いた「私がこの一巻を愛するのは、日本語のもっとも厳しい修辭法でつづらられているからだ」という言葉を敷衍してお話いただきました。横須賀先生からもお願いします。

横須賀 私は宮城教育大学の学長であった林竹二²さんから新井奥遼について折々聞かされていましたが、自分から関心を持ったわけではありませんが、『新井奥遼著作集』も、買ったけれど難しくて全然読まなかった（笑）。でもこの『ポケット』をゲラで読んで、奥遼は要するにキリストや神を梯子にして考えに考えた人だということが、私なりにわかりました。人間、考えているようで、そうそう考えられない。深く考えることはなかなかできません。それをおこなった奥遼に興味を持ちました。

十文字学園女子大学の創立者、十文字大元³と奥遼とのかわりや、幕末の伊達藩との関係も興味深いです。奥遼は、薩長に対抗する東北連合の書記長役をしていました。たくさん人間が死に、彼自身命を失ってもおかしくなかった。深い絶望も味わったと思います。難しくとても読めないと思っていた奥遼が、これなら読める、少しおもしろいところがある、となり、私の読み方が奥遼へのとっかかりとして役立つなと思ひ、巻頭言を書きました。

1 新井奥遼 一八四六（弘化三）年、仙台藩に生まれる。森有礼の知遇を得、森に伴われ一八七一年、アメリカに渡り、トマス・レイク・ハリスのコミュニティ新生同胞教団に入団。一八九九年に帰国。

2 林竹二 一九〇六年、栃木県矢板市に生まれる。専門はギリシア哲学。宮城教育大学の学長時代、バリケード封鎖した学生との対話を惜しまなかった。全国の小学校をまわりユニークな授業を自ら行い、話題となった。

3 十文字大元 一八六八年（明治元年）、現在の宮城県遠田郡涌谷町に生まれる。実業家、活動写真弁士、自彊術家。奥遼のもとに集まる者たちの修養会「大和会」の初期のメンバー。妻の十文字ことは十文字学園の創立者の一人。



奥邃の言葉

池内 奥邃の言葉は、本来は耳で読むものだと思います。声に出して、ゆつくり、あるリズムをもつて読むと非常にわかりやすい。この時代の知識人は小さいころは四書五経を丸暗記していました。口に出して、音で覚え込んでしまう。民衆はお経です。親鸞の『正信偈』や蓮如の『白骨の御文章』を耳で聞いて知っていました。僕も部分的に覚えていきます。

奥邃にも「夫れ」で始まる言葉がたくさんあります。これはうたい出します。奥邃は書きながらも常に音声を考えていたと思います。散文の形をとつていても精神的には韻文です。

印象に残った語録のうち私が選んだ一番目は、20番「今に至る迄幾千歳其一方面に於ては、尤女人困難の時なりし」。これまで男の時代だから女性は大変だったがこれからは女人の時代が来る。しかし「此は女子一方に偏して男子は女子に蹂躪せられんと云ふに非ず、女人の時代とは天母の御宇也」。「天母」という言葉は造語なのか、おもしろい表現です。「蹂躪」という言葉の音が非常に強い表現力を持ち、だからこそ次の「天母」が生きてきます。

二番目は30番の、「吾人には師病多し」。要するに師になりたがる病、教えたがる病。「己未だ能く学ばざるに、先づ人を教へんと欲す」。これ「吾人」を「老人」に変えらるとびつたりです。「老人には師病多し」(笑)。いくらでも語録が生きてくる。またその中の、「其我意の奴となりて」。エゴイズムの奴。この「奴となりて」も、日本語を常に耳からたどってきた人の表現力だと思います。

三番目が49番「凡そ人の危険は其譏らるる時よりも、其誉らるる時に在り」。人間は誉められるときが一番危ない、批判されるのはいいが、誉められたらおしまいだ。「譏らるる時に反して、誉らるる時は、人の通情として自ら許し易し」。「譏らるる」「誉らるる」と二つを対比させる。そして「是れ誉は誘惑の本なり。此間尤警醒を要す」。



「誉」という時代の言葉を「誘惑の本」と転換する。鮮やかな表現です。

昔の日本人の、耳で覚え、全身で習得するという知恵や知識の身につけ方が奥邃にはありました。しかも前近代がそのまま残った表現法で、今見ると逆に言葉の使い方がおもしろい。ただし我々のロジックとはかなりずれがあります。奥邃からいえば自然でも、我々には飛躍と思えたり、なぜ次の行がこうなるのかわからない。キリスト教というより一種の奥邃教、あるいは自然教、自然な教えの説き方でしょう。難しいと拒否する前に、意味など考えずに声を出して読んでみると、テンポとリズム、快感があり、生理的にも感情的にも非常にスキッとします。言っていることよりも言い方、全身で唱えることの気持ちよさが中身なのではないでしょうか。

三浦 池内さんからそう伺えてうれしいです。奥邃を初めて読んだとき、意味は調べず、まずは音読してみました。難しい熟語はわからないし読み方も間違えていたかもしれませんが、自分なりにリズムをつけて読むと、気持ちよくなるんです。

横須賀先生はいかがでしょう。

横須賀 39番「クライストは必しも其名称に由りて知られず。之を知るは其実を得るに在り」。クライストやキリスト教を知ってそれに近づくとではなく、「其実とは何ぞや、曰く善なり、美なり。人若し至善至美を欲して、勉強して之を求むる時は、外面に於て未だクライストと親しまずと雖も」。自分から善や美を追求する気になつて、「勉強して」、みずから求める気があるときに、「その心將にクライストの心を得んとするなり」、クライストの真実に近づいたことになる。私はキリスト教に心惹かれながらついに教会には近寄らず、そのことに私自身が劣等感を持っていましたが、これを読んで感心しました。

あわせて23番。「夫れ聖書は何ぞや。所謂聖書は何の為に存するや。是れ手帳也」、「仕事師の必携簿となる」。林竹二「田中正造の生涯」にある「奥邃は『キリストは労働者で聖書は仕事師の手帳だ』と語る人であつた」はこのことですね。キリストを神聖視するのではなく、生活や実務の中で自分自身のものにしていく。

違う観点では、102番「吾人若し戦つて己に勝たんと欲せば、先づ当に其心を開くべし。全く開くべし。敢て軽卒に我が心既に開けりと思ふ勿れ。開けたる所ありと雖も、其隠蔽する所の猶万々なるに非ずや。蓋し古より今に至るまで人間隠蔽なき者未だ有らざればなり。人は固より自力を以て玲瓏たる能はざるも、然れども、誠に明德を明にするに勉めずして、生来汚濁の情を脱する能はじ。故に豁然其心を開くべし」。「心を開く」という言葉をこの時代に使い、かつ、それは簡単にできるものじゃないという。私は教育学をやり、自分自身の生き方の中で

も「心を開く」ことを一生懸命に考え、やろうとしてきましたが、やはりできない。生涯の課題です。

同じことは105番、「人を指して、彼に愛なしと謂ふ勿れ。彼に能なしと謂ふ勿れ。今仮令能くせざるも、他日之を能くせむか。今日愛せざるも、他日能く人を愛せむ。愛の種子は平等に神より播かるべしなり。其愛発して、其能も亦及ぶ。又或は器小として其人を譏る勿れ。箇々人同じからず。小大協うて真相成る。特り閉ちて其愛の發揮せざるを憂ふるのみ」。私は教育実践の中で人間の可能性を引き出すことを生涯のテーマにしています。人間すべてに可能性があると奥邃は言っている。十文字大元が奥邃に近づいたのも納得です。

三浦 僕が選んだのは、一つは127番。「基督教は人情の教へなり。大目十二。曰く慈。万物を慈愛す。曰く奮。和平に奮力す。曰く謙。弟位に謙居す。曰く審。正邪を審明にす。曰く立。主の信に立つ。曰く喜。喜びて少徳を樂しむ。曰く樂。樂しみて大徳を喜ぶ。大徳曰く哀。哀泣して新を求む。曰く救。救して以て救を致す。曰く救。救うて以て救を成す。曰く顧。顧み省みて以て信と疑とを別つ。曰く仕。天の煇神に仕へ奉るなり。此れ人情の大範なり。命を奉ずる者は順に動く。能く進みて其の終に達する者、是れ人の情の至れるなり」。十二の徳目についての文ですが、読んでいてつい気持ちよくなる。音がたたみかけてくるようです。

それから104番。「隠路あり、照々の天に安遠の道より開く。クライストの微妙の戸なり。一息開けて億兆相抱くべし。一息閉ちて衆星隠越を致さん。生命の機は一息に在り——意なり」。哲学者の森信三さんが、この語録に非常に感銘を受け、奥邃を生涯の幻の師として敬仰したと聞いています。

若し其形に拘らば今は昨に非ず、夕亦朝ならず、新書と雖も用あるなし、精神を善読すれば則ち益す、善読とは何をか意味す、其私を殺すに在り」。黒表紙本の遺墨「有神無我」が、奥邃を読むときの一つのキーワードだと思えます。奥邃は「私を殺すに在り」を徹底させ、自分が喧伝されることを望まざり、写真も残さず墓もつくらせませんでした。『新井奥邃著作集』の出版も怒られるかもしれない(笑)。しかし、奥邃本人の心に反しても出版社の人間としてはぜひ出したかった。

今日はお二人にいろいろな角度からお話を伺いました。奥邃はまだまだ知られていませんが、『新井奥邃著作集』に続いてこの『おうすいポケット』を刊行し、五〇年後に日本史の教科書に田中正造と一緒に名前が出るという夢を僕は持っています。本当にありがとうございます。



(4頁に本の紹介)



哲学・思想・宗教



随想 西田哲学から

聖霊神学へ

小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)

キリスト教の日本への受肉を生涯のテーマにしてきた著者畢生の論考集。岩手の風土の中で育まれた少年の感性がいかに世界の思想を受け入れ格闘してきたか、身を削るような思索の過程を跡づける。自らの思想遍歴を語るインタビューを併録。四六判並製・四六〇頁 定価(3500円+税) ISBN 978-4-86110-444-0



哲学 はじめの一步

立正大学文学部哲学科編

わたしって何のために生きてるんだろう? 「生きる」「私」であること」「心」「行動する」の四つのテーマから考える、高校生・大学新入生のための哲学入門。知的な背伸びもしてみよう。四六判並製・全四巻函入・各巻約二〇頁 定価(3241円+税) ISBN 978-4-86110-459-6

おっすいポケット 新井奥達語録抄

三浦衛 (春風社代表)・コールドゲニエル (福岡女学院大学教授) 編 田中正造が「亜聖」と評し、高村光太郎が愛読した、いのちの思想家、奥達。その珠玉の語録を全集より精選。白表紙 ISBN 978-4-86110-454-1 黒表紙 ISBN 978-4-86110-455-8 各巻 ¥2200

奥達論集成

春風社編集部編 若松英輔、中島岳志、中条省吾、飯島耕一、竹内敏晴ら各界屈指の論客による珠玉の論考。『新井奥達著作集』月報取載の論稿を一書にまとめ、人と思想を多角的に照らし出す。 ISBN 978-4-86110-424-4 ¥2700

エコ・ファンタジー—環境への感度を拡張するために

山田利明 (東洋大学教授)・河本英夫 (東洋大学教授) 編 スケールが大きくて捉えにくい「環境」と、個人の生活感覚とのギャップは、どう埋められるのか。食料自給率、生物多様性、南方熊楠など、多彩な視点から問う。 ISBN 978-4-86110-468-8 ¥3500

死生学—死の隠蔽から自己確信へ

岩崎大 (東洋大学研究助手) 失われた死の実感、「隠された死」の現場で苦悩する人々…よりよく生きるために、「死について考える。死生学の特徴・目的から医療現場での実践までを網羅する。 ISBN 978-4-86110-438-1 ¥3982

虚構の形而上学—「あること」と「ないこと」のあいだで

中村靖子 (名古屋大学教授) 編 なぜ、ないものがありそうに見えるのか。意思を決定し選択する「主体」から、靖国神社の「神々」まで、「ある」と「ない」の間を巧みに行きかう九つの刺激的論考。 ISBN 978-4-86110-436-7 ¥3500

サルトルとマルクス

「見えない『他者』の支配の陰で」 北見秀司 (津田塾大学教授) フーコー、ドゥルーズ、デリダらの「後の」サルトルを読む。 I ISBN 978-486110-213-4 II ISBN 978-486110-214-1 各巻 ¥3333

釈講詳節(上・中・下)

朝鮮世祖 纂述/河瀬幸夫 訳 一五世紀に発明されたハンケルで記述された韓国独自の釈迦伝「釈講詳節」は韓国文学史上最高傑作と言われている。本邦初訳の全三巻、遂に完結! ISBN 978-4-86110-209-7 / 978-4-86110-363-6 / 978-4-86110-271-4 各巻 ¥6500

『方法叙説』をめぐる六つの試論—日本の思惟と西欧の思惟に介在する深淵

小林利夫 著 徳永雅 編 ISBN 978-4-86110-254-7 ¥3619

哲学の挑戦

西日本哲学会編 ISBN 978-4-86110-335-3 ¥2800 新井奥達著作集(全十巻) 工藤正三(新井奥達先生記念会幹事)、コールドゲニエル(福岡女学院大学教授) 共編 各巻 ¥6500

沈黙の向こう側—豊崎光二追悼集

豊崎令子 監修/岩崎誠、佐久間和男、中村裕、平山規子 編 ISBN 978-4-86110-370-4 ¥3048 リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション 稲垣論(自治医科大学教授) ISBN 978-4-86110-303-2 ¥2381

ちいさな哲学

長谷川宏(哲学者) ISBN 978-4-86110-192-2 ¥1800 超越する実存—人間の存在構造と言語宇宙 棚次正和(京都府立医科大学教授) ISBN 978-4-86110-391-9 ¥4500

横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガーを超えて

谷口隆一郎(聖学院大学教授) ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333 絶対無と神—京都学派の哲学 小野寺功(清泉女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-471-0 ¥4600

長谷川宏

日々の風 暮らしのなかの哲学

12 ルール違反

三六年間続いたわが塾の、諏訪湖南の山奥の合宿が今年で最終回となった。宿舎としていた旧分教場の老朽化が進んで、諏訪市の管理当局から来年以降の使用は許可できないと申し渡されたためだ。最後の十泊十一日とあって、別れを惜しむ若男女が延べ百数十人も参加するにぎやかな合宿となった。

合宿の半ばを過ぎようかというころ、ちょっとした事件が起こった。高校一年生の男の子がおとなに混じって煙草を吸っているのが見つかったのだ。宿舎の建物のすぐ外に五、六脚の椅子を置いた休憩所らしき一角があつて、件の男の子はそこで吸っていたらしい。とすると、気づいたおとなもいたにちがいないが、その子を高校生だと認識しなかったか、認識していてもあえて咎めだてすることはないと思つたか、その場では見すごされ、中学生以上が全員出席する夜のリーダー会議で、男の子をよく知ることながら喫煙の事実が公表された。

各人の自由を尊重し、指導・被指導の関係のできるだけ排除するのが合宿の流儀だから、会議の席で規律違反やルール違反が問題にな

ることはほとんどない。が、高校生の喫煙を不問に付すほど秩序感覚はゆるやかではない。現に、喫煙の事実が報告されると、それまでなごやかだった会議に緊張が走り、皆の視線が当の高校生の上を集まり、見つめられた高校生は顔はうつむき加減となつた。

気まずい沈黙の時間が二、三分は流れただろうか。話を前に進めるべく、当人に「なぜ吸つたか」の説明を求めた。改めて皆の視線が集まる。うつむいたままの当人からはかばかしい説明の聞けるはずはなかったが、聞きとりにくいかなすれ声の発言から浮かび上がるのは、思春期の反抗ともいえないような、要するに調子に乗つてちよつと吸つてみた、という程度の幼い心の動きだつた。

しどろもどろの説明のあと、またちよつと沈黙の時間があつた。が、冷たい沈黙は男の子の弱気にそぐわない。男の子が「もう吸いませせん」と明言し、残りの煙草を焼きすてることで一件落着となつた。合宿の後半、男の子はかえつてのびのび過ごしているようだつた。(哲学者)

聖霊の神学

小野寺功(清泉女子大学名誉教授) ISBN 4-921146-81-0 ★ ¥7600 マハーバラータとラーマヤナ 前川輝光(亜細亜大学教授) ISBN 978-4-86110-365-0 ¥3000

新しい国家—海辺の別荘で教養と信仰と哲学を語り合う

W・H・マロック 著/澤井勇訳 ISBN 978-4-86110-319-3 ¥2800 直接知の探求—西田・西谷・ハイテッカー・大拙 松丸壽雄(獨協大学教授) ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000

茶の本 岡倉天心 著/ソーントン不破直子

(日本女子大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-191-5 ¥1300 源信とパウロ—『往生要集』と『書簡』における神秘主義の比較 高見伊三男(牧師/名古屋学院大学教授) ISBN 978-4-86110-123-6 ¥3200

聖書における愛—イエスの愛とパウロの愛

高見伊三男(牧師/名古屋学院大学教授) ISBN 978-4-86110-287-5 ★ ¥2200 ロールズ誤解された政治哲学—公共の理性をめざして 堀巖雄(研究者) ISBN 978-4-86110-112-0 ★ ¥4700

思想のレクイエム—加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡

浅見洋(石川県立看護大学教授) ISBN 4-86110-068-2 ★ ¥3500 風についての省察—絶対無の息づかいをもとめて 松山康國(関西学院大学名誉教授) ISBN 4-921146-85-3 ★ ¥3333

異教の完成者—史的イエスをめぐる謎

波多野直人(武蔵大学教授) ISBN 978-4-86110-351-3 ¥3500 滝沢克己を語る 三島淑臣(九州大学名誉教授) 監修 ISBN 978-4-86110-206-6 ★ ¥3619

〈文化〉の思想—現代日本の位置から

西欣也(甲南大学教授) ISBN 978-4-86110-323-0 ¥2200 河合樂治郎の社会主義思想体系—マルクス主義とファンタズムを超えて 青木育志(研究者) ISBN 978-4-86110-272-1 ★ ¥3800

教養主義者・河合樂治郎

青木育志(研究者) ISBN 978-4-86110-320-9 ¥3000 ヤスパース—人間存在の哲学 吉村文男(京都教育大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-260-8 ★ ¥4571

対話論神学の地平—私の巡礼のなから

延原時行(元敬和学園大学教授) ISBN 4-86110-081-X ★ ¥4286 犠牲と身代わり—記憶できないものをめぐって 長田陽一(京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-275-2 ¥2200

心理臨床と脱構築の経験—〈他者〉をめぐって

長田陽一(京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400 小林秀雄とウイトゲンシュタイン 中村昇(中央大学教授) ISBN 978-4-86110-106-9 ¥2500

仮説法の倫理学—ホー・ハース・ハイテッカー

村上隆夫(群馬大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-309-4 ¥2600 同一性の形而上学—映画・SF・探偵小説 村上隆夫(群馬大学名誉教授) ISBN 4-86110-059-3 ★ ¥600

西田幾多郎—生命と宗教に深まりゆく思索

浅見洋(石川県立看護大学教授) ISBN 978-4-86110-185-4 ★ ¥3333 信仰の美學 阿部仲麻呂(サレジオ会司祭) ISBN 4-86110-028-3 ¥9500



神奈川ゆかりの作家たち

読んで、味わい、ぶらっと神奈川。日本文学再発見。多くの文豪が訪れ、暮らし、愛した神奈川。神奈川ゆかりの文豪二十二人の代表作五編を選び、魅惑の書き出しを掲載。ゆかりの地のエピソードをほのぼのとイラスト付きエッセイで紹介。作家名とゆかりの地を印した地図付。たちまち増刷！
四六判並製・三〇頁 定価(1500円+税)
ISBN 978-4-86110-462-6

「女の子」という運動

第二次世界大戦前のドイツでは、OLも女学生もレヴューダンサーも「女の子」(Mädchen)とよばれていた。マスメディアの発展とともに登場した女性作家たちの作品を読み解くことで、その女性像の虚実を探る。
四六判上製・三四頁 定価(3000円+税)
ISBN 978-4-86110-443-5



美しき汚れ

女性労働者の写真を集めていたヴェイクトリア朝時代の弁護士・詩人アーサーと、下層階級の女性肉體労働者ハナ。階級を超えた二人の愛情関係を、豊富な写真資料をもとに考察。写真という当時最新のテクノロジーが果たした役割についても論及する。
四六判上製・二六頁 定価(3000円+税)
ISBN 978-4-86110-442-8



敗戦・憂国・東京オリピック

三島由紀夫と戦後日本
洪澗杓 (誠信女子大学校助教授)
「欧米的」と「日本的」の狭間で揺れる「戦前・戦後の連続性」「アイデンティティと歴史」「大衆消費社会」「アメリカナイズ」「ナショナリズム」「天皇制」などの観点から三島作品を分析。戦後日本社会を鋭く受け止めた時代の変化を受容しつつ抵抗した三島像に迫り、戦後日本の表象を考察する。
四六判並製・三四頁 定価(3000円+税)
ISBN 978-4-86110-463-3



フロンテ小説における病いと看護
川崎明子 (駒澤大学准教授)
『嵐が丘』や『ジエイン・エア』の登場人物はなぜ病人だらけなのか？ 創作行為の源泉としての「病い」と、それが本質的に伴う「語り」に着目し、新たな解釈を提示する。
ISBN 978-4-86110-427-5 ¥3500

秘密のラティガン―戦後英国演劇のなかのトマス・メデア空間 大谷伴子 (東京芸芸大学講師) イギリス演劇からハリウッド映画まで、ヒット作から意欲的な社会派まで。様々なメディア・ジャンルを行き来した作品を、グローバルな枠組みで解釈する。
ISBN 978-4-86110-448-0 ¥2700

マーガレット・オブ・ヨークの「世紀の結婚」―英国史劇とブルゴーニュ公園 大谷伴子 (東京芸芸大学講師) ISBN 978-4-86110-419-0 ¥2700

失われたハリを求めて―マルセル・ブルーストが生きた街アンリ・ラクシモウ 著/吉川佳英子・岩野卓司 訳 ISBN 978-4-86110-236-3 ¥2000

交錯する戦争の記憶―占領空間の文学 黄益九 (在日コリアン研究所) ISBN 978-4-86110-422-0 ¥3300

中世英語英文学―その言語・文化の特質 菊池清明 (立教大学教授) ISBN 978-4-86110-428-2 ¥4500

名誉革命とイギリス文学―新しい言説空間の誕生 富樫剛 (フェリス学院大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-412-1 ¥3000

幻想と怪奇の英文学 東雅夫 (ソウルソリスト、評論家)、下楠昌哉 (同志社大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-404-6 ¥2700

ジョージ・エリオットの異文化世界 高野秀夫 (駒澤大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-395-7 ¥3333

トルストイと生きろ 藤沼賢 (早稲田大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-385-8 ¥4762

戸籍の謎と丸谷才一 ソーントン不破直子 (日本女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-381-0 ¥1800

ミルワード氏の英文学散歩―ルネッサンスから現代へ ビーター・ミルワード 編著/橋本修一 訳 ISBN 978-4-86110-167-0 ¥1800

乱歩彷徨―なぜ読み継がれるのか 紀田順一郎 (評論家、作家) 「人間乱歩」に迫る。 ISBN 978-4-86110-284-4 ¥1905

作品は「作者」を語る―アラビアン・ナイトから丸谷才一まで ソーントン不破直子・内山加奈枝 編著 ISBN 978-4-86110-292-9 ¥2857

朝鮮神話の源流―「ハリ公主神話」と「ダンクン神話」を巡って 金香淑 (自由大学准教授) ISBN 978-4-86110-313-1 ¥4500

原典対照『ヘオウルフ』読解 長谷川寛 (元日本大学教授) ISBN 978-4-86110-230-1 ¥9000

イギリス イメージ横断―表象と文学 要田圭治・田原光広・吉本和弘 編 ISBN 978-4-86110-278-3 ¥3333

明治大正露文化受容史―二葉亭四迷・相馬黒光を中心に 小林実 (十文字学園女子大学短期大学部准教授) ISBN 978-4-86110-219-6 ¥6476

永井荷風 ソライスムの射程―初期作品をめぐって 林信威 (京都大学非常勤講師) ISBN 978-4-86110-222-6 ¥3619

名刀中条スバババン!!! 中条省平 (学芸院大学教授) ISBN 4-921146-90-X ¥2800

アントニオ・タブッキ 反復の詩学 花本知子 (京都外国語大学講師) ISBN 978-4-86110-358-2 ¥3000

Beowulf 橋本修一 (千葉工業大学教授) ISBN 4-86110-060-7 ¥2000

カスオ・イシグロ (日本)とイギリスの間から 莊中孝之 (京都外国語短期大学准教授) ISBN 978-4-86110-255-4 ¥3000

乱読すれど乱心せず―ヤスケンがえらぶ名作50選 安原順 (スーパリエディター) ISBN 4-921146-67-5 ¥1800

『ヘオウルフ』とその周辺―足成欣四郎先生追悼論文集 唐澤一友 (駒澤大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-190-8 ¥8000

古代歌謡と南島歌謡―歌の源泉を求めて 谷川健一 (民俗学者) ISBN 4-86110-058-5 ¥2400

なぜ男は笹野頼子を畏れるのか 海老原暁子 (元立教大学院短期大学准教授) ISBN 978-4-86110-318-6 ¥2381

樋口二葉 物語論・言語行為論・センター 樋口洋子 (神戸親和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-348-3 ¥4000

ほくの交遊録 岡井隆 (歌人) ISBN 4-86110-044-5 ¥2800

インタビュ―現代短歌―うた・ひと往来 及川隆彦 (短歌往来) 編集長 ISBN 4-86110-066-6 ¥2857

ラファディオ・ハーンとジェイムズ・トムソン―「四季」をめぐって 先川暢郎 (元拓殖大学教授) ISBN 978-4-86110-285-1 ¥3333

新版文学にひそむ十字架 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部教授) ISBN 978-4-86110-354-4 ¥2800

小出龍重と谷崎潤一郎―小説「夢喰ふ虫」の真相 小出龍太郎・明里千章・荒川朋子 ISBN 4-86110-084-4 ¥2500

小出龍重―光の憂鬱 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部教授) ISBN 4-921146-34-9 ¥2200

ちよつと、教養―20代女性のための芸術案内 小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学部教授) ISBN 4-86110-008-9 ¥1600

民話の森の歩きかた 樋口淳 (専修大学教授) ISBN 978-4-86110-273-8 ¥2381

テクストの思考―日本近現代文学を読む 林浩平 (詩人・恵泉女子大学特任教授) ISBN 978-4-86110-253-0 ¥3048

ヘンリー・フィールディング 澤田孝史 (東京国際大学教授) ISBN 978-4-86110-231-8 ¥4286

AUTHOR

自著を語る

三上賀代
『増補改訂 器としての身体
土方巽・暗黒舞踏技法へのアプローチ』



土方巽は伝説的な前衛舞踏家です。「太平山があれば、いくらでも踊りは作れる」と言う、秋田出身の土方は、西欧文化とモダンダンスから「田んぼの中のぬかるんだ足」という出自に帰ることで、世界の暗黒舞踏を創始しました。

私は1973年、21歳のときに初めて土方巽の舞台を観ました。土方がゆっくりと舞台を横切る姿に、私は涙を流し、自分が浄化、救済されたと感じました。しかしアングラの教祖土方にまつわる怖い評判に、入門する勇気はありませんでした。いくつかの偶然が私を土方の前に連れて行き、私は土方の弟子になりました。土方の弟子としての生活は、今までの自分を捨て、全てを舞踏に捧げるという過激なものでした。そして1981年、私は稽古場を逃げ出しました。

1986年の土方先生の死をきっかけに、先生がどのように舞踏を作ったのか知りたい、自分も踊りたいという一心で大学院に入学し、研究を始めました。世界初の土方巽研究です。当時は、大学からは「踊りたいなら踊ってほしい」、アングラからは「権威的な大学でなぜ土方なのか」と言われる時代でした。先行研究もまとまった資料もほとんどなく、自分自身や他の弟子の稽古ノートを使った、何もかも手探りの研究でしたが、それが修士論文、『器としての身体』(ANZ堂、1993年)、博士論文、そして今回の増補改訂版に結びつきました。また、研究によって明らかになった暗黒舞踏技法をもとに、自分の踊りも再開できました。

現在「とりふね舞踏舎」を主宰し、湘南舞踏派の中高年と京都精華大学の平安舞踏派の学生とともに国内・海外で舞踏公演を行っています。昨年、故郷徳島で、還暦を迎えた同級生たちにも参加してもらって、「ハッピーリタイア舞踏公演」を行いました。亡き父母には一度も私の踊りを見てもらえないままでしたが……。大学では、世界でたったひとつの「暗黒舞踏ゼミ」を開講しています。学生たちが自らのからだに向き合い、からだに出会う時間になっています。

(6頁に本の紹介)

古英語詩を読むールーン詩からヘーオウルフ

吉見昭徳(明治学院大学名誉教授) ¥4000 ISBN 978-4-86110-135-9

ルーン文字の探究 ラルフ・W・V・エリオット著/吉見昭徳(明治学院大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-183-0 ¥286

オーウェル文学の源流を求めてーその想像的創造力の源泉 高橋鍾(宮崎大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-170-0 ¥2800

Essays on Dickens, Forster, Austen: A Japanese Reader's Appreciation 藤田永祐(獨協大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-388-9 ¥3000

ディケンズ、フォースター、オースティンーいまに生きるイギリス小説 藤田永祐(獨協大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-154-0 ¥2200

平家物語ー装置としての古典 高木信(相模女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-139-7 ¥4600

文学

英詩に魅せられーエリオットからラーキンまで 堀田二郎・大創誠 共編 ISBN 978-4-86110-305-6 ¥2476

ヒースの丘からー友、旅、暮らしの歳時記 山口弘恵(武蔵野大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-186-1 ¥1800

啓蒙と反動 青地伯水(京都府立大学名誉教授) 編 ISBN 978-4-86110-362-9 ¥3000

Decoding Paul Muldoon: Poetics and Politics 奥田良一(東海大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-176-2 ¥2500

虫曼荼羅ー古典に見る日本人の心象 岩下均(目白大学名誉教授) ISBN 4-86110-004-6 ¥2800

荒野へ 鮎川信夫と「新領土」ー 中井巖(同志社大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-096-3 ¥9333

こんにちはチェホフーー三つの短編を訪ねる 村手義治(元創価大学教授) 編訳 ISBN 978-4-86110-279-0 ¥2000

龍の星霜ー異端の劇作家青江舜一郎 大嶋拓(映画作家) ISBN 978-4-86110-274-5 ¥1500

法隆寺 青江舜一郎(劇作家) ISBN 978-4-86110-225-7 ¥2800

鷗外・漱石ーメディアカリズムの起源 大石直記(明治大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-175-5 ¥5600

見えないものを見る力ーケルトの妖精の贈り物 風呂本武敏(元愛知学院大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-094-9 ¥2190



いないも同然だった男 取りに足りない、影の薄い「誰にも見えない男」は美しい同僚へ愛を伝えるため、自分の存在を証明するため、英仏海峡を泳いで渡る計画を立てるが…。フランス映画の巨匠ルコントの最新作は、ちよっとまぬけで哀しい男の物語。重版出来！ 四六変型判・上製・一八八頁 定価(1800円+税) ISBN 978-4-86110-458-9

鎌倉三猫物語 ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) 著 小町、タマ吉、みなみが行く。四季折々の中で練り広げられる三猫の小さな冒険。学者一家と暮らす猫たちが隣猫と出会ったり、長歌を詠んだり、ときには鳥を仕留めたり…かわいくてリアルで、ちよっとこわい日常。 ISBN 978-4-86110-430-5 ¥1500

エドワード・トマス訳詩集 吉川朗子(神戸市外語大学准教授) 訳 古きよきイギリスの美しい田園風景と、当時の人々を詩情豊かに描き出す七〇篇。志願兵として第一次世界大戦に出征、戦死したトマスの詩をテーマ別におさめる。本邦初の訳詩集！ ISBN 978-4-86110-429-9 ¥2000

愉しみは最後にー二人のひどく不器用な自殺志願者の往復書簡 パトリス・ルコント、ダヴィッド・デカンヴィル 著/桑原隆行(福岡大学名誉教授) 訳 入院先で知り合った自殺志願者二人が、知恵をしばって珍妙な自殺方法のアイデアを競い合う…。コミカルな書簡体小説。 ISBN 978-4-86110-418-3 ¥1800

エルビー・メルゲンと七つの太陽ーモスコルのいつたえ集 塩谷茂樹(大阪大学名誉教授) 編訳/Ya・パダムハンド(日本学術振興会外国人特別研究員)コラム執筆 遊牧民が古くから語りついできた十のお話。総ルビで子どもも大人も楽しめるー ISBN 978-4-86110-338-4 ¥1600

小作人とアサラシ女ースコットランドのいつたえ ジュディ・ハミルトン 著/先川暢郎(元拓殖大学名誉教授)・橋本修一(千葉工業大学名誉教授) 訳 ケルト的想像力がありなす、冒険と不思議と男気にあふれる、めくるめく物語世界！ ISBN 978-4-86110-408-4 ¥1500

スウェーデン民話名作集 全4巻 数下紘一(元駒澤大学名誉教授) 訳 人々のさだめと神の救い、魔女や動物たちがおりなす魔法と幻想の世界。(IIは品切重版未定) I ISBN 978-4-86110-246-2 III ISBN 978-4-86110-339-1 IV ISBN 978-4-86110-368-1 各巻 ¥1905

翻訳ピンチ! 中条省平 SHOHEI CHUJO

16

美人が良い人とはかぎらない

この夏はプールのフランスコミック版の翻訳にかりかりでした。以前、『失われた時を求めて』の第1巻『スワン家の方へ』の第1部『コンプレー』だけは翻訳、出版したのですが、今回はこれに第2部『スワンの恋』と第3部『土地の名ー名』も加えて『スワン家の方へ』の完全版にしようという企画です。新たに訳す部分だけで、前回『コンプレー』の3倍もあるので、いやあ、疲労困憊しました。

同時に、すでに訳した『コンプレー』も見直しました。8年前には、映画の字幕のように簡潔で分かりやすい訳文をめざし、それなりにうまく行ったつもりでした。拙訳『コンプレー』が出たとき、数多くの書評が大変好意的に扱ってくれたのですが、そのなかで音楽評論家の近田春夫さんは、プールのプールの初めですが、このコミック版でも難しいところが多い、と指摘されました。例えば、こんな一文。

「ある存在の本質が、その存在によって働きかける美徳と無関係なのは(少なくとも無関係に見えるのは)、美的な価値とは

別に、心理的現実とはいえないまでも、ともかく人相学的現実を備えているということだ」

これを読んで近田さんは「美人が良い人とはかぎらない」ということだと思いが、自信がもてない、と言っていました。私自身、この訳文を読みかえして自信がもてなくなってしまったのです。そこで今回はこんな訳文に思いきって直してみました。

「ある人間の心が、その人間から外に表れる美徳と無関係であることは(少なくとも無関係に見えるということは)、美的な価値とは関わりないことで、心理的事実とはいえないまでも、人相学的な事実ではあるということだ」

プールのプールの書いていることは、ヘーゲルの意味で言えば、人間には、本質と外見と行為があって、この三つはつねに一致するとは限らないということだと思のですが、どうでしょう？

(仏文学者)

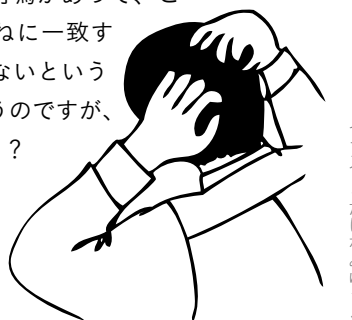


イラスト:たけなみゆうこ

写真・音楽・芸術



アンドレ・バザン 映画を信じた男 野崎敏(東京大学教授)

新訳『映画とは何か』を深める一冊！ トリュフォーを監督として育て上げた、映画批評の金字塔『映画とは何か』を著したアンドレ・バザン。彼の美学は没後半世紀を超え、現代アジア映画、宮崎アニメにも通じるのか。映画をこよなく愛する翻訳家・仏文学者による待望の映画論。 四六判上製・三〇〇頁 定価(2300円+税) ISBN 978-4-86110-456-5

増補改訂 器としての身体

土方巽・暗黒舞踏技法へのアプローチ 三上賀代(京都精華大学教授)

現在も世界中で拡大を続ける舞踏(Butoh)。舞踏はどう評価され、位置づけられてきたのか。「灰柱」「虫の歩行」……創始者・土方巽が独特の言語で表した暗黒舞踏技法とは。土方から直接教えを受け現在も舞踏をつづける著者が、稽古ノートと実体験をもとに土方巽・暗黒舞踏技法を解明する。「器としての身体」(ANZ堂一九九三年)にさらなる研究の成果を加えた増補改訂版。 B5判並製・一五六頁 定価(3600円+税) ISBN 978-4-86110-465-7



- ことばのポトック
大竹昭子(作家)編
ISBN 978-4-86110-310-0 ¥1800
- クリス・ホルディック選「コシツク短編小説集」
石塚則子(同志社大学教授)他編訳
ISBN 978-4-86110-298-1 ¥3500
- アイリッシュ・ハーブの調べ—ケルトの神話集
マリー・ヒーニー著／大野光子監修
ISBN 978-4-86110-124-3 ¥1800
- お爺ちゃんとお爺ちゃん
オタ・フイリッパ著／北岡武司(岡山大学名誉教授)訳
ISBN 978-4-86110-446-6 ¥2500
- 人生の請求書
石橋幸子(春風社専務)
ISBN 978-4-86110-410-7 ¥1300
- カフェの女主人
レイモン・ジャン著／桑原隆行(福岡大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-356-8 ¥2200
- モーツァルトの息子
ジャック・トゥルニエ著／高井道夫(元上智大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-242-4 ¥2200
- パリの小鳥売り
ロベール・ブラジヤック著／高井道夫(元上智大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-250-9 ¥2200
- リヴァ・ヘラ バトリス・ルコント著／桑原隆行(福岡大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-280-6 ¥1905
- ショートカットの女たち バトリス・ルコント著／桑原隆行(福岡大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-277-6 ¥2000
- 空にあがったハイエナー ケニア・キクユの民話集 杜由木
ISBN 978-4-86110-301-8 ¥1600
- カレワラ物語—フィンランドの国民叙事詩
キルステイ・マキネン著／荒牧和子訳
ISBN 4-86110-034-8 ¥1800
- 愛の叙事詩 ハルダイヤン物語 ミシエル・ゼヴァコ著／鈴木悌男(神戸松蔭女子学院大学名誉教授)訳
ISBN 978-4-86110-223-3 ¥2800
- フォーの国のことば—ベトナムを学び、ベトナムに学ぶ 富田健次(元大阪大学教授)
ISBN 978-4-86110-352-0 ¥1905
- 横浜の時を旅する—ホテルニューグランドの魔法 山崎洋子(作家)
ISBN 978-4-86110-296-7 ¥1600
- 魔術師のたいこ
レーナラウライイネン著／荒巻和子訳
ISBN 4-86110-075-5 ¥1500
- みらいのゆくすえ
しりあがり寿(漫画家)
ISBN 978-4-86110-294-3 ¥1600
- マハーヴァキナまたは巫山の夢
三浦衛(春風社代表)
ISBN 978-4-86110-342-1 ¥1957
- 父のふるさと—秋田往来
三浦衛(春風社代表)
ISBN 978-4-86110-243-1 ¥1905
- 出版は風まかせ—おとほけ社長奮闘記
三浦衛(春風社代表)
ISBN 978-4-86110-193-9 ¥1300
- エコマ マコスカ 幕末 ハリ飯島耕一(詩人)
ISBN 4-86110-040-2 ¥2800
- 気がつけばアメリカ人—二つの祖国に生きて蒲生靖子
ISBN 978-4-86110-392-6 ¥1500
- わしといたずらキルディー
マリー女王著／長井那智子(エッセイスト)訳
ISBN 978-4-86110-153-3 ¥1800

- 父のアルバム 伊藤巖、田中典子(清泉女子大学教授) 娘の成長を写真と文で綴る。アルバムに残された家族の断片は、「昭和の家族」のある典型的な姿を映し出す。今より「不便」だが不便とも思わなかった時代のさまざまな記録が、大切な何かを伝えてくれる。
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800
- 新版北上川 橋本照嵩(写真家) 立松和乎氏(作家) 推薦「近年の収穫といえる写真集である」。東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市。石巻出身の(人物写真家)が、昭和三〇〜四〇年代のふるさとを原風景と人々の暮らしを深い愛情と洞察をもって写し撮った。
ISBN 978-4-86110-441-1 ¥3500
- ファニー・メンデルズゾーン(ハンゼラー)時代に埋もれた女性作曲家の生涯 ウテ・ビュヒター・レーマー著 宮原勇(名古屋大学教授)監訳／米澤孝子(演奏家・指揮者)訳 女性に創作活動が許されなかった時代、溢れる才能と意欲に恵まれながらも、弟の陰に隠れていた作曲家がいた。ISBN 978-4-86110-421-3 ¥2300
- 映画はやめる—バトリス・ルコント、自作を語る バトリス・ルコント著／ユベール・ブロンジヨ(聞き手)／桑原隆行訳 映画ファン必携の書。本邦初訳! 傑作を生み出したつづけてきた巨匠バトリス・ルコントが映画にかける思いをインタビュー形式で語る。
ISBN 978-4-86110-433-6 ¥3800
- 石巻2013.27〜2014.5.29
橋本照嵩(写真家)
宮城県石巻市出身の写真家が三年にわたり、震災後の故郷を撮影。被災地に住む家族、仮設住宅、現地の行事などのモノクロ写真一七〇点と撮影日誌。
ISBN 978-4-86110-414-5 ¥4500
- クジラ解体
小関与四郎(写真家)『九十九里浜』の写真家による迫真のドキュメンタリー! 和田浦・九十九里浜(千葉)、太地(和歌山)、鮎川(宮城)で二四年にわたってクジラと共に生きる人々と暮らして撮影。モノクロ写真一二二点。
ISBN 978-4-86110-261-5 ¥15000
- 九十九里浜
小関与四郎(写真家)はたらくとは。生きる。と関与四郎で生まれ育った著者が半世紀にわたって撮りつづけた。昭和三〇〜四〇年代を中心に、日本の原風景が甦る。時代のうねりのなかでたくましく生きる人々を写す。
ISBN 4-86110-012-7 ¥15000
- フェルナン・レジェ オブジェと色彩のユニットビ
アーキニスムからフランス人民戦線まで
山本友紀(京都嵯峨芸術大学ほか非常勤講師) 抽象絵画、版画、舞台芸術、映画、建築装飾など多彩なレジェの創作活動を、歴史・社会・政治と関連づけながら分析・考察する。
ISBN 978-4-86110-405-3 ¥4500
- かほぢやの下で—ウガンダ戦争を生きた子どもたち 桜木奈央子(写真家) 写真・文／伊藤氏貴解説 ISBN 978-4-86110-259-2 ¥1800
- 世界写真紀行—美しい自然と文化を訪ねて(海外編・国内編) 洪谷興一
ISBN 978-4-86110-409-1 ¥3500
- 長唄の世界(よつせ)—読んで味わう、長唄入門 細谷朋子(十文字学園女子大学短期大学部有期助手) ISBN 978-4-86110-400-8 ¥3400
- ドアの映画史—細部からの見方、技法のリテ
ラシー 吉田眸(京都産業大学教授)
ISBN 978-4-86110-264-6 ¥1800

- 深読み映画論—「暗い日曜日」の記憶
大野真(大妻女子大学教授)
ISBN 978-4-86110-198-4 ¥1905
- ただしいジャズ入門
中条省平(学習院大学教授)
ISBN 4-86110-057-7 ¥1600
- たのしいジャズ入門
寺島靖国(ジャズ喫茶「メグ」店主)
ISBN 4-86110-056-9 ¥1600
- アンヘリカの選択
丸岡永乃(画家・詩人)
ISBN 978-4-86110-337-7 ¥1800
- 君にシロツメクサの冠を
丸岡永乃(画家・詩人)
ISBN 978-4-86110-336-0 ¥1200
- ハラに染まるぜ! 天才ジャズ本
安原顯(スーパーエディター)
ISBN 4-921146-62-4 ¥2800
- フランス・ミュージカルへの招待
渡辺諒(早稲田大学教授)
ISBN 978-4-86110-344-5 ¥2000
- 邦訳「ガリヴァー旅行記」書誌目録
松菱多津男(公社社長)
ISBN 978-4-86110-276-9 ¥4600
- OTHER VOICES 東大共闘・68—70
平沢豊(編集者)
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

mini 帰ってきた 大河 15 南蛮 甲冑



鬼群豪山は稀代の豪傑で、近隣からは「鬼の豪山」と呼ばれ恐れられていた。しかし豪山はそのクマのような体格から受ける印象とは違い、決した力の任せの男ではなかった。情報をおつめ、技術の進歩を図る知慮者でもあった。

その日も豪山は、南蛮からはるる取り寄せた武器甲冑を品定めしていた。「これは馬上にて使う槍か」「ふむ継ぎ目のない甲冑とは…」様々な品物の中で豪山の目を引く甲冑があった。体にぴったりとしたその甲冑は、戦場で動きやすく、すこぶる機能的に見えた。「う、これはしかし…」

家来に手伝わせ、やっとの思いで自らその甲冑を身に着ける。「腹のあたりがキツイな」「しかしながら何かこう新しさを感じますな」「うむ、しかしキツイ…」

なんとか身に付け、姿見の前で戦場で采配を下し、大音声でわが名を呼ばわる様を試してみる。「やあやあ、我こそは…」

その時南蛮商人が遅れてやってきて、豪山を見ていった。「トノハソウイウゴ趣味デシタカ? ソウト知ッテイタラモット可愛ラシイ品ガゴザイマシタノニ」

豪山が身に着けたのはどうやら女性用のコルセットだったらしい。

- 詩集 輪郭のない自画像
木端美人 くり返される日常の一步一步／疲れたからだを煮沸する／湯船から今日日の現実の旨味が／そそくさと煮こぼれた／……／季節、日常、精神、いきもの、幻覚、矛盾、それぞれの輪郭を求め日々を思索。
ISBN 978-4-86110-457-2 ¥2300
- デテムシ 新美南吉詩歌集
石川勝治(長崎県立大学名誉教授)・斎藤卓志(民俗学者)編 死と隣り合わせて生きた新美南吉は、いのちの深さと奇跡を心やさしく訴える。南吉の「こころ」をキーワードに選択し、時代順に配列した、珠玉の短詩形文学集。
ISBN 978-4-86110-406-0 ¥1800
- 谷川健一全歌集
谷川健一(民俗学者・歌人) 歌人・民俗学者の歌業を集成。既刊歌集『海の夫人』『青水沫』『海境』の全作品にくわえ、未発表作を多数収録。独自の歌風によって詠い上げられる、見えないもののへの憧憬と祈り。
ISBN 978-4-86110-104-5 ¥3800
- 風の想い—奈津
松永澄夫(立正大学教授)
ISBN 978-4-86110-378-0 ¥1500
- 邂逅
岩田澄江
ISBN 978-4-86110-324-7 ¥952
- 詩集 猿のマンナン
つとむのはる
ISBN 978-4-86110-270-7 ¥1300
- 山桜花
廣利千恵子
ISBN 4-86110-077-1 ¥1429

- 自然・健康
コバタンの繁殖—絶滅危惧種保存への挑戦
石川文也(日本鳥学会会員) 環境破壊と乱獲によって激減したコバタン。種の保存のための方策、そして問題点とは何か? これまで明らかされてこなかった繁殖の様子を詳細に記す本邦初のコバタン専門書!
ISBN 978-4-86110-195-3 ¥2800
- 背骨ゆらゆら健康法—自分でできるお手軽気功術 朱剛(禅密気功師)
ISBN 978-4-86110-127-4 ¥1200
- 氣功瞑想でホッとする 朱剛(禅密気功師)
ISBN 978-4-86110-189-2 ¥1800

観光

突撃！よこはま村の100人―自転車記者が行く佐藤将人(神奈川県新聞記者) 神奈川新聞に好評連載中のコラムが一冊の本になった！ 笑いと涙と感動を胸に、日々奮闘努力する横浜の面々をユーモアたっぷりに紹介。 ISBN 978-4-86110-316-2 ¥1500

イギリスの田舎を歩く ピーター・ミルワード 著／橋本修一(千葉工業大学教授) 訳 のどかな風景のなかを歩き、大聖堂をじっくり見学し、パブ料理に舌鼓を打つ。美しい挿画とともに、観光客の知らないとおきおきのイギリスを案内します。 ISBN 978-4-86110-311-7 ¥1429

日本初の海外観光旅行―九六日間世界周 小林健(明海大学教授) ISBN 978-4-86110-178-6 ¥3200 瀬戸内、鳥獣の旅―風景の奥を読む 伊藤松雄(四国学院大学教授) ISBN 978-4-86110-360-5 ¥1800

観光地の興味期限―「暮らしと観光」の文化 論 古池嘉和(富山大学教授) ISBN 978-4-86110-120-5 ¥1800 にぎわい文化と地域ビジネス 相原憲一(元静岡大学教授) 編 ISBN 4-86110-021-6 ¥1800

おばさんへトナム留学記 中嶋弘子 ISBN 978-4-86110-297-4 ¥1500 おばさん―辺境を行く 外川洋子 ISBN 978-4-86110-100-7 ¥1500

おばあちゃん―世界遺産を行く 外川洋子 ISBN 978-4-86110-249-3 ¥1500 おばあちゃん―豚となつて木に登る 外川洋子 ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

山ふたり―鈴鹿・大峰・四国・山陰編 三輪敏広・三輪和恵 ISBN 978-4-86110-382-7 ¥2000

環境

農の6次産業化と地域振興 熊倉功夫(静岡文化芸術大学学長) 監 米屋武文(静岡文化芸術大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-437-4 ¥2750 富士山学への招待―NPOが富士山と地域を救う 渡辺豊博(都留文科大学教授) ISBN 978-4-86110-229-5 ¥1500

失敗しないNPO―グラウンドワーク三島の20年とイギリスに学ぶ 渡辺豊博(都留文科大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500 英国発グラウンドワーク―「新しい公共」を実現するために 渡辺豊博・松下重雄(並沢大学准教授) ISBN 978-4-86110-232-5 ¥1500

三島のジャンボさん―ミスター・グラウンドワーク 渡辺豊博(都留文科大学教授) ISBN 978-4-86110-233-2 ¥1429 英和の森の植物たち―感じる、遊ぶ、食べる 中池敏之・川崎末美(東洋英和女学院大学教授) ISBN 978-4-86110-321-6 ¥2600

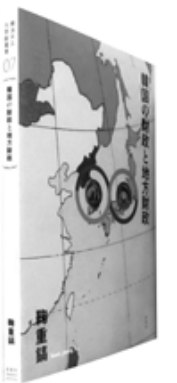
世界遺産の自然と暮らし 今井一郎(関西学院大学教授) ISBN 4-921146-98-5 ¥1905

横浜市の歴史 資料を見て考えるホロコーストの歴史―ヴァンゼー会議とナチス・ドイツのユダヤ人絶滅政策 ヴァンゼー会議記念館 編著 山根徹也(横浜市立大学准教授)・清水雅大(横浜市立大学客員研究員) 訳 一九四二年にベルリン郊外のヴァンゼー湖畔で、ユダヤ人絶滅政策を協議する会議がナチ党幹部によって催された。その会議記念館が発行する常設展示図録を訳出。ホロコーストの全貌を伝える。 ISBN 978-4-86110-461-9 ¥2000



韓国の財政と地方財政

鞠重鎬(横浜市立大学教授) 歴代政権別の経済財政運営、歳入や歳出に係わる主要指標から見た特徴、租税政策・社会保障政策について考察。さらに日韓の類似点・相違点を明らかにし、公式データに基づく政策評価を行う。 ISBN 978-4-86110-460-2 ¥3000



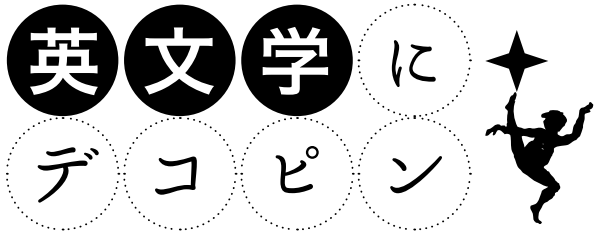
レリギオ―宗教の起源と変容 三上真司(横浜市立大学教授) 「宗教」を意味する religion の語源であるラテン語「レリギオ」religio は、本来なにを意味したのか。聖書、アウグスティヌスから、ニーチェ、アレントらの議論までをたどり、その謎に迫る。 ISBN 978-4-86110-452-7 ¥3000

日中間戦争と中国文学者―郁達夫、柯靈、陸蠡をめぐって鈴木正夫(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-411-4 ¥3500 天狼排句の英訳―誓子・敏雄・綾子 古平隆(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-384-1 ¥3000

過去の再演を越えて―精神分析的ロール・プレイング 川幡政道(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-374-2 ¥3000 読んで楽しむイギリス文学史入門 白井義昭(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-372-8 ¥1500

普仏戦争―籠城のバリ 132 日 松井道昭(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-373-5 ¥3000

阿部公彦



3 『ジェーン・エア』とトップ・アスリートの世界

シャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』は英文学でも人気の作品だが、好き嫌いも分かれる。苦手な人もけっこういるのだ。おそらくそれは特有の「圧迫感」のせいではないかと思う。読書の心地で言うと、何とというか、ぜんぶ自分でやろうとするワンマン経営者の下で働いている気分なのである。

もちろん経営者としては相当なやり手だ。行動力にもあふれ、こちらに相談もなく果敢にあらたな事業をこころみるので、「次はそう来たか！」とびっくりさせられることしきり。小説としては展開感満点で、楽しいことこの上ない。

ただ、こちらにはほとんど手出しさせてくれない。「ところで、ここはどうでしょう？」と意見を挟もうとしても、ぜんぶ封じられる、ような気がする。とにかく自分が語ることに忙しい。自分が思う通りの方法で、こちらを楽しませたいらしい。手出しは無用。

でも、一人よがりともちょっと違う。『ジェーン・エア』を読んだ人が必ず記憶するのは、遙か遠方からロチェスターが「ジェーン、ジェーン、ジェーン」と叫ぶのをジェーンが耳にし、そのもとに駆けつける場面だろう。私たちが慣れてきたリアリズムの作法とは相容れない、いわば「ありえない」展開だ。まさかねえ、と思う。そんな強引な展開が許せるかどうか。×という人もいるかもしれないが、このワンマン経営者のやり方に慣れると、「まあ、いいか」という気にもなる。

というも、この人の頭は、そもそもいろんな「声」が響く構造になっているからだ。この人は、他人の声までも、頭の中で聞いてしまう。冒頭で興奮のあまりひきつけを起こすことからわかるように、ジェーンはとにかく「癪」が強い。その「癪」と付き合い続けるのが『ジェーン・エア』という小説なのだ。だから、文章全体にも癪が乗り移り、テンションの高い語りが続く。読者の言うことなど聞かない。そのかわり語りが自己分裂して、勝手に赤くなったり青くなったりする。何しろワンマン経営者。自分と他者の境界より、自分の意識と無意識の境界の方が大事なのだ。まるで「最大の敵は自分です」と言い放つトップアスリートのように。

(英文学者)

立教大学人文叢書

石碑、直筆原稿、楽譜、絵画、写真などの媒体をテキストとし、人間精神の多彩な動きを考究する横断的人文学の試み。全五巻！

- 1 人文資料学の現在― 浦野聡・深津行徳 編著 ISBN 4-86110-063-1 ¥2200
2 文学の基礎レクチャー 後藤和彦 編著 ISBN 4-86110-087-9 ¥2200
3 肖像と個性 藤巻明・浦野聡・小嶋菜温子 編著 ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2200
4 人文資料学の現在II 菅谷憲典 編 ISBN 978-4-86110-163-2 ¥2200
5 書簡を読む 桑瀬章二郎 編 ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200
古代文学史料の中心性と周縁性 立教大学東アジア地域環境問題研究所／深津行徳・浦野聡 編著 ISBN 4-86110-067-4 ¥3500

東洋英和女学院大学 社会科学叢書



- ネット空間を愛するモバイル社会 東洋英和女学院大学メディア・コミュニケーション研究所 編 ISBN 978-4-86110-444-2 ¥2500
震災時における携帯電話の役割、ケータイ小説の流行、ツイッターを活用した選挙運動など、モバイルインターネットの普及がもたらす新時代の諸相を明らかにする。 ISBN 978-4-86110-444-2 ¥2500
グローバルゼーションとリスク社会 岡本浩一(東洋英和女学院大学教授)・パトリシア・スウィッセル(東洋英和女学院大学教授) 編 国境を越えて拡散する多様なリスクにどう立ち向かうべきかを示す九編の論考。 ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

総記・辞典・事典

- 異文化コミュニケーション事典 石井敏・久米昭元(編集代表)／浅井亜紀子・伊藤明美・久保田真弓・清ルミ・古家聡(編集委員) ISBN 978-4-86110-333-9 ¥7600
ニューシニア下百科事典 ニューシニア下学会 編 ISBN 978-4-86110-111-3 ¥9333
ダンテ神曲原典読解語源辞典〈地獄〉〈煉獄〉〈天国〉 福島治(元東京女子大学教授) ISBN 4-921146-77-2 ★ / 4-921146-78-0 ★ 各巻 ¥46000
現代日本語エンコル語辞典 橋本勝(大阪大学名誉教授)／E・プレブシヤン(モントリオール大学言語学研究所研究員) ISBN 4-921146-33-0 ¥15000
日本の英語辞書と編纂者 愛知大学文学叢書 XI 早川勇(愛知大学名誉教授) ISBN 4-86110-064-X ¥6600
スペイン語語源辞典 太田強正(神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-332-2 ¥5200



英語の名詞をきわめる

小林悦雄

可算名詞と不可算名詞の使い分け

fruit や water は「数えられない名詞」...

英語と開発—グローバル化時代の言語政策と教育

英文法は役に立ち！—英語をもっと深く知りたい人のために

ヘルベル語とティフィナグ文字の基礎—タリー

津田塾大学言語文化研究所言語学習の個別性

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II: What UG Should be Like in the Context of

「ジョンソン」と「国語」辞典の誕生—十八世紀

The Pragmatics of Uncertainty

プラグマティクス・ワークシopp—身のまわりの言葉を語用論的に見る

L'interaction Exolingue : Analyse de Phenomenes

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis: Evolution, UG Residues, and Helen Keller

英語教育の精神と実践—コミュニケーションから英米文学まで

フェイス相互作用理論—日本語学習クラスにおける相互作用からフェイスワークをとらえる

英語のルーツ

Languages and Language Policies In Insular Southeast Asia

はじめての論文—語用論的な視点で調査・研究する



物語が始まる—共創教育の現場から

「ネイティブ」とよばれる日本語教師—海外で教える母語話者日本語教師の資質を問う

変革的知識人としての教師—批判的教授法の学びに向けて

環境心理学—環境デザインへのバーステクト

自由と尊厳を超えて

魂のかけら—ある物理学者の神秘体験



この街の古書店

黄金町アートブックバザール店主 小畑裕也

高架下にあるガラス張りのその古書店は、外から店内の様子がよく分かる構造となっており、天井近くまで整然と並べられた色鮮やかな大小の本が、行き交う人々の興味をひく。

「お店は2008年にオープンしました。五反田アートブックバザール（同じく2008年に誕生した定期古本市。展示会の図録やポストカードなど幅広い意味でのアートをテーマにした商品を販売している）と黄金町エリアマネジメントセンター（「アートによるまちづくり」をテーマにした黄金町発のNPO組織の事務所）が共同で運営しています。

なるほどたしかに店内には、見たこともないような海外の美術雑誌まで幅広く芸術書を取り揃えている。件の天井まで届く木製の本棚に目をやると、それ僕がつくったんですよ、と小畑さんは言う。周辺にはギャラリーがいくつかあり、制作の過程で不要になった廃材を集めては、寸法を測ってこつこつと本棚を作っていた、と語るから驚きだ。

小畑さんは九州で生まれ、地元の美術系の大学で油絵を専攻した後、縁あってここ黄金町の事務所に就職した。休みの日には野毛で絵を描いて過ごすことが多いのだが、時には作家として黄金町で絵を展示することもある。

古書店としての今後の目標についてうかがうと、古本屋は、読み手をつなげていくためにも本を保存していかなければならない、本を保存する方法についてもっと考えたい、と語ってくださった。

黄金町では毎年開かれる、地域と一体となったアートイベント「黄金町バザール」が今秋にひかえている。イベントに行かれる方はぜひブックバザールにも足を運んでみてはどうだろうか。フリードリンクのコーヒーで、優しいシャイな店主が迎えてくれる。

YOKOHAMA

心理

自由と尊厳を超えて

魂のかけら—ある物理学者の神秘体験

日中教育対話

- Ⅰ 教育学研究と教育改革の現状と課題 ISBN 978-4-86110-159-5 ¥2200
 - Ⅱ 黄済先生米寿記念論文集 ISBN 978-4-86110-220-2 ¥2800
 - Ⅲ 新たな対話への発展・深化を求めし ISBN 978-4-86110-248-6 ¥2200
- 勞凱声(首都師範大学教授)／山崎高哉(大阪総合保育大学学長・京都大学名誉教授)共編 教育思想、教育と公共性、教育のメタ理論、学校制度、教師教育、現代国家と教育の関係、教育と市場の関係、儒教思想の教育に対する影響、多文化教育、教育および教育学の伝統と創造、高等教育改革と発展などをテーマ別に考察。日中の真摯な対話の精華。教育関係者必読!

言語教育とアイデンティティ——こはの教育実践とその可能性

細川英雄(早稲田大学名誉教授) 技術としての言語教育から、人間形成としての言語教育へ。日本語・国語・外国語の教育をいかに連携・再生させるかを問う試み。
ISBN 978-4-86110-289-9 ¥2800

私はどのような教育実践をめざすのか——言語教育とアイデンティティ

細川英雄(早稲田大学名誉教授)・鄭京姫(早稲田大学日本語教育研究センター常勤インストラクター)編 言語活動主体のあり方を問いつつ、言語教育の意味と目的を捉えなおす試み。
ISBN 978-4-86110-379-7 ¥2800

体当たり校長の学校づくり——8年間のニースレター

横山芳春(豊見城市立座安小学校校長) 授業実践を通して子どもの成長を願い、学校づくりに励む沖縄県初の民間人出身小学校長の奮闘記録。強靱な意志を武器に学校を変えてゆく。
ISBN 978-4-86110-340-7 ¥2381

子どもの心にとく授業——三重県桑名市立藤が丘小学校における六年

伊藤新司(元桑名市立藤が丘小学校校長) 編著 授業がほんものである、子どもたちは自由のびのび、生き生きする。子どもたちと真剣に向き合った先生たち三四人の記録。
ISBN 978-4-86110-326-1 ¥2381

海峡を越えて——京畿高等女学校の思い出

太田孝子(岐阜大学教授) 日本植民地時代に、朝鮮で教師をしていた日本人女性と朝鮮人の教え子・同僚にインタビュー。宗主国・植民地の歴史はさまざま、国策やイデオロギーを越えて生きぬいた人々がいた！
ISBN 978-4-86110-157-1 ¥2200

母の愛が奇跡を生む——発達遅れに挑むラーニング・ボックス学習法

立川勲(よこはま児童文化研究所顧問) 編 子に障害があると判った時の親のショックは計り知れない。学習法を探し回り、画期的な自学自習の学習法に辿りつくまでの経緯と子どもの変容を語る。
ISBN 978-4-86110-098-7 ¥1500

戦前 感化・教護実践史

- 佐々木光郎(元静岡英和学院大学教授)／藤原正範(鈴鹿医療科学大学教授) 明治期から昭和初期にかけての感化院、少年教護院。これらの施設での生活指導、教育が真の意味で子供たちを「教え、育てる」ものであったことを詳述。
ISBN 4-921146-18-7 ¥4800

昭和戦前期の少年教護実践史(上・下)

佐々木光郎(元静岡英和学院大学教授) 不良の子らはいかに保護・養育され教育されたのか。自然との触れ合いが不良の子らに及ぼした影響と、その陶治力を検証する。
上 ISBN 978-4-86110-330-8
下 ISBN 978-4-86110-331-5 各巻 ¥3500

新版 生涯学習と地域社会教育

末本誠(神戸大学大学院教授)／松田武雄(名古屋大学大学院教授) 編 生涯学習の歴史と現状を詳細に分析し、新しい理念と方向性を提起。障害者や高齢者など社会的弱者を含む住民への行政と地域のあり方を問う。
ISBN 978-4-86110-234-9 ¥2476

学びを開くNIE——新聞を使ってどう教えるか

影山清四郎(横浜国立大学名誉教授) 編著 生徒の国語力を育み、社会への視野を広げるNIE (Newspaper in Education)の日本における詳細な実践報告集。
ISBN 4-86110-080-1 ¥2381

ポストモダンの自由管理教育——スキゾ・キッズからマルチ・キッズへ

柳沼良太(岐阜大学大学院准教授) フーコーやドゥルーズ、ラカンの思想を用いて管理と自由の両立やいじめ対策など困難な課題を検討し、ありうべき理想の教育を模索する。
ISBN 978-4-86110-241-7 ¥2200

竹内レッスン——ライブ・アット大阪

竹内敏晴(演出家) あなたの息づかいがゆつたりしていますか? 「からだ」がまるごといきいきすることを目指す、稀有のワークショップ「竹内レッスン」。吃音者グループとのセッションの模様と、それをめぐる思考。
ISBN 4-86110-076-3 ¥2600

いのちを育む教育学

吉岡良昌(東洋英和女学院大学教授)・大川洋(国際基督教大学上級准教授) 編著 ルソーやペスタロッチなど古典的な教育思想をふまえながら、多面的ないのちの諸相をトータルにとらえる。自己肯定感を高くし、教育の理論と実践を提唱。
ISBN 978-4-86110-143-4 ¥2200

実感から関係化へ——ある重度重複障害者と関わり

遠藤司(駒澤大学教授) 編著 重度重複障害の子のもつ人間としての素晴らしさ、豊かさ、思考の深さ、一五年間の関わりから見てきたこと。人間の世界のあり方を示す実践的事例研究。
ISBN 978-4-86110-237-0 ¥2381

斎藤喜博研究の現在

- 横須賀薫(十文字学園女子大学学長) 編 教育界に一時代を画した斎藤喜博の営為を次代につなぐための白熱の研究論考。子どもの未来を本気で考え、実践するための必備必携の書。
ISBN 978-4-86110-314-8 ¥4600

新版 教師養成教育の探究

横須賀薫(十文字学園女子大学学長) 編著 なぜ教師は養成されなければならないか? いかに教師は養成されるべきか? 引用されることの多い教師養成教育の古典的名著が、新版としてよみがえる。
ISBN 978-4-86110-245-5 ¥2200

教育の経済——成り立ちと課題

三上和夫(神戸大学名誉教授) 編著 地方分権・括法的社会的な前提など、教育の経済の成り立ちと課題を総括。国家責任の歴史的分析や公教育論の構成、教育評価と社会・国家などについても概説する。
ISBN 4-8-6110-049-6 ¥3200

増補「いい子」の非行——家裁の非行臨床から

佐々木光郎(元静岡英和学院大学教授) 編著 素直でまじめな、いわゆる「いい子」による犯罪が目立っている。彼らはどういう家庭・学校生活を送ってきたのか? 「いい子」の非行事例をもとに現代の文化的・教育的課題を探る。
ISBN 4-921146-91-8 ¥1800

デューイ：人間性実現への教育——米国内カリキュラム開発を考える

海谷則之(龍谷大学名誉教授) 教育哲学者・デューイ。その思想を発展的に継承し、教育荒廃がすすむ現代アメリカにおけるさまざまな改革への取り組みを検証しつつ、「人間性実現への教育」の可能性を説く。
ISBN 4-921146-57-8 ¥2857

幼児キャンプ——雪の体験

山梨幼児野外教育研究会 監修 自然界の雪は、活動の大きな喜びと自然の不思議に触れる数々の体験ができる場。子どもたちが雪の魅力を存分に体験できるような冬の活動を紹介した指導マニュアル。
ISBN 4-921146-40-3 ¥1905

先生、いのちのことを教えて——引き揚げから

養護教諭へ 引地ユリ 養護教諭33年間の根拠を支えたもの。子どもたちの声にならぬ声を聞きとけ、多大な反響を巻き起こしたユニークな教育の原点はここにあった。性教育の根拠を支えた壮絶な半生を初めて明かす。
ISBN 978-4-86110-269-1 ¥952

日本における外国人留学生と留学生教育

鈴木洋子(昭和女子大学特命教授) 編著 日本における外国人留学生と留学生教育
ISBN 978-4-86110-268-4 ¥2800

作法学の誕生
山根一郎(根山女学院大学教授) 編著
ISBN 4-921146-97-7 ¥2800

ポストモダンの処方箋

16 愚かなる〈不信社会〉

白井聡

大学で、研究上の資金運営への管理・監視は強化されるばかりだ。物を買えば領収書だけでなく検品が要求され、出張をすれば、やれ航空運賃の請求には領収書だけでなく搭乗券の現物が要求され、甚だしきは現地での記念撮影が要求されたりもする。研究者は沢山いて、毎年どこかで研究費の不正使用が見つかるから、その度に管理が強化されるのである。

そんな大学の日常に慣れ切っていた私は、ある体験から衝撃を受けた。保守系言論人の重鎮であるN先生が主宰するシンポに登壇者として招かれた。本番前日は九州に出張の予定であったので、九州・東京間と東京から自宅のある京都までの交通費の負担をお願いさせていただいた。そこで私は、N先生の事務所に聞いた。「経費請求の際、領収書と他に何が必要ですか」と。答えは拍子抜けするものだった。「いや特に…大体の金額を言ってもらえれば結構です」。

〈信頼ベース〉のシステムと〈不信ベース〉のそれとの差を、私は実感した。鋭い人間観察眼をお持ちのN先生が、経費の水増し請求など誰も絶対にしないなどお考えではあるまい。つまりここには、素朴性善説とは異質の、N先生の矜持に基づく〈信頼〉が前提されている。すなわち、関係者が揃って不正経理を働けば

N先生の事務所は破産すると全員が知っている以上、よほど無茶なことは皆慎むだろう、という〈信頼〉である。

対照的に、大学の世界での経費管理のシステムは、関係者全員が機会さえあれば不正を働くに違いないと前提している。しかし、否それゆえに、決して不正は根絶されず、手続きだけが際限なくより煩雑なものとなる。

この対比を効率性の面から考えることもできる。不信ベースのシステムでは、不正防止の手続きを考案、実行、監視するために、莫大な手間がかかるのに対し、信頼ベースのそれでは、こうしたコストを一切かけない代わりに、少々の不正が行なわれることは織り込み済みなのだ。後者のやり方がモラルハザードを生じさせないためには、システム全体に対する関係者の一種の忠誠のごときものが必要なのではない。不正の機会を血眼になって潰して回るやり方の馬鹿らしさは、不正の減少を目指しながら、社会の魂たる信頼の構築を端から視野に入れないことによって、逆にますます誰からも忠誠を要求できないものに成り下がっているところにある。コンプライアンスなるものがもたらすのは、逆にその可能性が一切存在しない世界にほかならない。

(政治学者)

政治・経済

近代政治思想の基礎——ルネッサンス、宗教改革の時代
クエンティン・スキナー著／門間都喜郎(京都精華大学名誉教授) 訳 膨大な文献を参照し、近代に至る西洋政治思想の形成と展開を暴く。記念碑的名著、待望の翻訳!
ISBN 978-4-86110-181-6 ¥7600

世界金融危機 日中の対話——円・人民元・アジア通貨金融協力

上川孝夫(横浜国立大学教授)・李曉(吉林大学教授) 編 国際通貨体制と国際金融の改革をめぐる議論を整理し、アジア通貨金融協力の現状と今後を展望する。日中共同企画!
ISBN 978-4-86110-203-5 ¥3500

党人 河野二郎——最後の十年

河野洋平(前衆議院議長) 監修／小枝義人(千葉科学大学教授) 著 豪腕政治家の波乱に満ちた晩年と魅力あふれる言動。関係者へのインタビュー、秘蔵資料から足跡を追う。息子・河野洋平氏が監修。
ISBN 978-4-86110-212-7 ¥1714

戦争の読みかた——グローバル・テロと帝国の時代に

加藤朗(桜美林大学大学院教授) 9・11は何を意味するのか。変貌する紛争の系譜を辿り、明らかになるポスト近代の世界システムとは。「人間の安全保障」の可能性を探る。
ISBN 978-4-86110-144-1 ¥2200

「新自由主義」をぶっ壊す

青木育志(研究者) 世界金融危機・世界同時不況の元凶「新自由主義」を政策と思想の両面から徹底的に批判。格差を肯定する「新自由主義」から、平等に配慮した「自由主義」への道を示す。
ISBN 978-4-86110-226-4 ¥1600

生命の経済学——生物学による経済学再構築

富森慶児(北海道大学名誉教授) 経済とは人間の「いのちの営み」である。生命論的自己組織化、創発、進化…。生物学にインパクトを受けた概念を駆使し、既存経済学を見直す。ここに新しい領野が開かれる。
ISBN 978-4-86110-161-8 ¥2381

フランス帝国主義と中国——第二次世界大戦前の中国におけるフランスの外交・金融・商工業

篠永真(文京学院大学非常勤講師) 為替相場の調整をめぐる日米間交渉のプロセスはどのようなものだったのか。スミソニアン会議以降の事例を国際政治学的手法をもちいて比較分析。
ISBN 978-4-86110-359-9 ¥2700

アメリカの対日通貨政策の形成——1971—2003年の日米通貨交渉を事例として

増永真(文京学院大学非常勤講師) 為替相場の調整をめぐる日米間交渉のプロセスはどのようなものだったのか。スミソニアン会議以降の事例を国際政治学的手法をもちいて比較分析。
ISBN 978-4-86110-359-9 ¥2700

増補「いい子」の非行——家裁の非行臨床から

佐々木光郎(元静岡英和学院大学教授) 編著 素直でまじめな、いわゆる「いい子」による犯罪が目立っている。彼らはどういう家庭・学校生活を送ってきたのか? 「いい子」の非行事例をもとに現代の文化的・教育的課題を探る。
ISBN 4-921146-91-8 ¥1800

デューイ：人間性実現への教育——米国内カリキュラム開発を考える

海谷則之(龍谷大学名誉教授) 教育哲学者・デューイ。その思想を発展的に継承し、教育荒廃がすすむ現代アメリカにおけるさまざまな改革への取り組みを検証しつつ、「人間性実現への教育」の可能性を説く。
ISBN 4-921146-57-8 ¥2857



北の商都

「小樽」の近代

ある都市の伝記

内藤辰美 (山形大学名誉教授)

明治国家の北方政策を色濃く反映した近代都市「小樽」は、いかにして形成され、発展して衰退したのか? 「国家」と「コミュニティ」という二つの視点から、その過程を詳細にたどる。

四六判上製・四三二頁 定価(3,000円+税) ISBN 978-4-86110-450-3

ホストセリングを知っていますか? 日本の子ども向けテレビCMの実態

山下玲子 (武蔵大学教授)、藤井達也

テレビ番組に出てくるキャラクターを番組中のCMに登場させ、番組とCMの境界をあいまいにする手法「ホストセリング」。日本の子ども向け番組における実例を、規制の強い欧米と比較し、子どもへの影響と問題点、今後のあり方を考える。

A5判並製・二四四頁 定価(3,000円+税) ISBN 978-4-86110-435-0



ホストセリングを知っていますか? 日本の子ども向けテレビCMの実態

米国の沖縄占領と情報政策—軍事主義の矛盾とカモフラージュ 吉本秀子 (山口県立大学准教授) 米占領下の沖縄で米軍政府と米民政府が実施した広報宣伝活動の実態を明示。現代の情報社会に潜在する政治的宣伝と軍事的宣伝の問題を考察するための事例を提示する。

籬の誕生—雛節供に込められた対の豊穡 皆川美恵子 (十文字学園女子大学名誉教授) 女性たちによる日本固有の民俗文化の歴史と全容。成人、結婚、出産…。女性の幸せな一生を願う「雛人形」。お内裏様とお雛様、男女一対の人形に込められた物語をひもとく決定版。

変容するテレビニュースとキャスターの役割 深澤弘樹 (駒澤大学准教授) 放送内容の分析やキャスターへのインタビューから「作られる」ニュースの現状を考察。元キャスターがテレビニュースの変遷をたどり、テレビならではのジャーナリズムの可能性を探る。

スイスの歴史ガイド グレゴワール・ナツペイ 著/藤野成爾 訳 紀元前から現代まで、時代ごとにキーポイントをまとめて分かりやすく解説。この一冊で、知識ゼロからでもスイスの歴史が楽しく学べます。充実のカラー図版が満載。

婚姻連帯論と社会学—レイウィーストローズ デュルケムをめぐって 門口充徳 (成蹊大学名誉教授) レウィーストローズのポロロ社会学研究とデュルケムのアポロジニ研究が与えた影響も視野に入れ、その考察過程に矛盾はなかったのか、社会学的な再検証を試みる。

地域と越境—「共生」の社会経済史 内田日出海 (成蹊大学教授)・谷澤毅 (長崎県立大学教授)・松村岳志 (大東文化大学教授) 編 ヨーロッパ、ロシア、アジアの各地域で、国家の枠組みを越えて生きた越境者の生活史・経済史をみる、刺激的な論集。

ペリーと黒船祭—日米文化外交史 佐伯千鶴 (北アラバマ大学准教授) ペリー来航を祝って催され、草の根レベルでの文化外交モデルとなってきた黒船祭。両国政府と祭の関わり方を分析し、十九世紀末から今日までの日米関係史を再考する。

グレゴリオ・デ・セスヘデス—スペイン人宣教師が見た朝鮮と文禄・慶長の役 朴哲 (韓国外国語大学校長) 著/谷口智子 (愛知県立大学准教授) 訳 キリシタン大名たちとの親交など、貴重な書簡をもとに、時代の渦に呑まれた宣教師の姿を浮き彫りにする!

多文化組織の日本人リーダー像—ライフストーリー・インタビューからのアプローチ 石黒武人 (順天堂大学准教授) 多文化組織でリーダーとして活躍する日本人の、傾向と問題点とは何か? 英会話学校での調査をもとに対話的構築主義の見地から明らかにする。

不思議フランス 魅惑の謎 藤野敦子 (京都産業大学教授) 日本人女性研究者が見た仏日の恋愛観・結婚観から、仕事観、宗教観、死生観まで。今の社会は、私たちを幸せにするのか? フランスの「不思議」から日本の「明日」を考える。

マーケティング・テモクラシー—世論と向き合う現代米国内政の戦略技術 平林紀子 (埼玉大学教授) ISBN 978-4-86110-387-2 ¥4600

前川教授の人生、血液型。—血液型が信じられる34の理由 前川輝光 (亜細亜大学教授) ISBN 978-4-86110-396-4 ¥1500

越境者の世界史—奴隷・移住者・混血者 弘末雅士 (立教大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-366-5 ¥2500

変容する冷戦後の世界—ヨーロッパのリアル・デモクラシー 永松雄彦・萬田悦生 編 ISBN 978-4-86110-224-0 ¥2381

空間のエスノグラフィ—文化を横断する 川床靖子 (大東文化大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-367-4 ¥2700

学習のエスノグラフィ—タンザニア、ネパール、日本の仕事場と学校をフィールドワークする 川床靖子 ISBN 978-4-86110-113-7 ¥2381

「敵国語」ジャーナリズム—日米開戦とアメリカの日本語新聞 水野剛也 (東洋大学教授) ISBN 978-4-86110-258-5 ¥5200

日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム—リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦水野剛也 ISBN 4-86110-038-0 ¥4600

中心と周縁—タイ、天草、シカゴ 佐久間美穂 (川村学園女子大学講師)・内藤辰美 (山形大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-369-8 ¥3500

1920年代の日本と国際関係—混沌を越えて「新しい秩序」へ 杉田米行 (大阪大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-262-2 ¥2500

ネットワーク社会と空間のポリティクス—都市・モダン・テクノロジー・グローバル化 大澤善信 ISBN 978-4-86110-202-8 ¥2800

頭山満と近代日本 大川周明 著/中島岳志 編・解説 ISBN 978-4-86110-134-2 ¥2200

ブラジルの都市問題—貧困と格差を越えて 住田育法 (京都外国語大学教授) 監修 ISBN 978-4-86110-173-1 ¥3619

フランス革命を旅したイギリス人—リグビー博士の書簡より E.リグビー 著/川分圭子 (京都府立大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-171-7 ¥2381

貧困をどのように捉えるか—H・ガンスの貧困論 西村貴直 (関東学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-343-8 ¥3333

黒人差別と国民国家—アメリカ・南アフリカ・ブラジル A.W.マックス 著/富野・岩野・伊藤 訳 ISBN 978-4-86110-107-6 ¥6190

イングランドの地名—起源と歴史を訪ねて K・キヤメロン 著/吉見昭徳 (明治学院大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-290-5 ¥4286

ルルテ・ヴェトラリア—17世紀初頭のガラス製造術 アントニオ・ネリ 著/日本ガラス工業学会 編 ISBN 978-4-86110-131-1 ¥5000

表象のウエネツィア—詩と美と悪魔 鳥越輝昭 (神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2800

イランとイスラム—文化と伝統を知る 森茂男 (元大阪大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-215-8 ¥2381

旅する対話—ティアスホラ・戦争・再生 姜信子 (作家)・ザラ・イマーエワ (映像作家) ISBN 978-4-86110-350-6 ¥1800

現在と性をめぐる6つの試論—言語・社会・文学からのアプローチ 小玉亮子 (お茶の水女子大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-117-5 ¥1800

太平洋問題調査会「1925-1961」とその時代 山岡道男 (早稲田大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-211-0 ¥4600

聖地と祈りの宗教社会学—巡礼ツーリズムが生み出す共同性 岡本亮輔 (北海道大学准教授) ISBN 978-4-86110-315-5 ¥5000

サステイナブルな社会を目指して 木村武史 (筑波大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-141-0 ¥2381

カラスの文明史 黒川高明 (元日本カラス工芸学会理事) ISBN 978-4-86110-172-4 ¥4762

ブルジェンシャフト成立史—ドイツ「学生結社」の歴史と意義 菅野瑞治也 (京都外国語大学准教授) ISBN 978-4-86110-304-9 ¥4200

移行期ロシアの繊維産業—ソビエト軽工業の崩壊と再編 藤原克美 (大阪大学准教授) ISBN 978-4-86110-317-9 ¥4000

インターネット文化の諸相—グローバル化を生きぬく知的戦略 若林一平 (元文教大学教授) ISBN 978-4-86110-267-7 ¥3333

マスメディア論—現場と社説と地方紙と 大西正行 (十文字学園女子大学教授) ISBN 978-4-86110-228-8 ¥1800

グローバリゼーション、市民権、都市—ロクシスの社会学 岩永真治 (明治学院大学教授) ISBN 978-4-86110-140-3 ¥3333

国際社会学の実践—国家移民・NGO・ソーシャルビジネス 三橋利光 (東洋英和女学院大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-263-9 ¥2381

国際社会学の挑戦—個人と地球社会をつなぐために 三橋利光 (東洋英和女学院大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-142-7 ¥2381

ブルマーはなぜ消えたのか 中嶋聡 (医師) ISBN 978-4-86110-103-8 ¥1300

19歳のライフデザイン 江戸川大学ライフデザイン学科 編 ISBN 978-4-86110-125-0 ¥1429

BOOKSTORE



本屋に行こう

かもめブックス 〒162-0805 東京都新宿区矢来町123 TEL 03-5228-5490 http://kamomebooks.jp/

町と人と本を考える真摯な本屋 神楽坂駅から徒歩30秒。かもめブックスは新潮社のすぐ目の前。店主の柳下恭平さんは、書籍専門の校正校閲会社・鳴来堂の代表も務めている。なぜ校閲会社が書店を営んでいるのか、その経緯をうかがった。

「この通りが通勤路で、ある日この本屋の前を通ったらシャッターが閉まっていた。あ、閉店したのか、というのが最初の理由です」。10年前、神楽坂で鳴来堂を立ち上げ、本づくりにたずさわってきた。町の本屋が減っていることは知っていたが、あの日それを体感し、ショックを受けた。本が売れない時代に、本を作り続けることはできるのだろうか。その答えを探して、かもめブックスを開店した。

本屋に行こう



町と人と本を考える真摯な本屋

神楽坂駅から徒歩30秒。かもめブックスは新潮社のすぐ目の前。店主の柳下恭平さんは、書籍専門の校正校閲会社・鳴来堂の代表も務めている。なぜ校閲会社が書店を営んでいるのか、その経緯をうかがった。

「この通りが通勤路で、ある日この本屋の前を通ったらシャッターが閉まっていた。あ、閉店したのか、というのが最初の理由です」。10年前、神楽坂で鳴来堂を立ち上げ、本づくりにたずさわってきた。町の本屋が減っていることは知っていたが、あの日それを体感し、ショックを受けた。本が売れない時代に、本を作り続けることはできるのだろうか。その答えを探して、かもめブックスを開店した。

神楽坂の人々は「カルチャー」と「向上心」を求めている。そう思い、カフェとギャラリースペースを併設した。地下鉄東西線が走る飯田橋、早稲田、高田馬場を挙げ、「飯田橋だったらビジネス書を、高田馬場だったら新刊を増やしたと思う。早稲田だったらカフェはいれなかった」という。棚には「日本語を考える」「知らずにはいられない」「その言葉を浴びたい」などのテーマが設けられ、どれもじっくり眺めてしまう。普段読書をしない人に、関係がないように見える本たちにも意外なつながりがあること、本にはさまざまな読みかたがあることを知ってほしい。「人生ってぶっつけ本番のように見えて、本がリハーサルの役割をしているのかもしれない」と語る。今後目指すところを聞くと、「まだ7ヶ月しか営業してなくて……でも、町の書店であるべきだと思うので、町の変化にあわせて変わらないといけなない」。穏やかで真っ直ぐな声だった。

道行く人々は必ず立ち止まり、吸いこまれるように店内に入っていく。神楽坂の人々をひきつけてやまない本屋。大型チェーン店が席卷する今、未永く愛されてほしい。

ヒトからへー 一人前 への民俗学

佐野賢治 (神奈川大学教授/日本常民文化研究所長)

ISBN 978-4-86110-281-3 ¥2381

物権法概説

小泉健 (一橋大学法学部)

ISBN 978-4-86110-221-9 ¥2800

僕の解放前後—一九四〇—一九四九

柳宗錦著/白燦訳/太田孝子 日本語校

ISBN 978-4-86110-164-9 ¥2800

かの冬、そして秋—僕の朝鮮戦争

柳宗錦著/白燦訳/太田孝子 日本語校

ISBN 978-4-86110-256-1 ¥2800

倭寇—商業・軍事的的研究

太田弘毅 (元東北女子大学教授)

ISBN 4-921146-51-9 ¥13000

世間師・宮本常一の仕事

齋藤卓志 (民俗学者)

ISBN 978-4-86110-156-4 ¥3200

保生大帝—台北大龍峒保安宮の世界

尾崎保子 (元昭和女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-105-2 ¥2800

京都の中のドイツ

青地伯水 (京都市立大学教授 編)

ISBN 978-4-86110-266-0 ¥2200

刺青墨譜—なぜ刺青と生きるか

齋藤卓志 (民俗学者)

ISBN 4-86110-053-4 ¥2800

台湾—メディア・政治・アイデンティティ

本多周爾 (武蔵野学院大学大学院教授)

ISBN 978-4-86110-216-5 ¥2381

牡牛と信号—〈物語〉としてのネパール

山本真弓/序・佐々木幹郎 (詩人)

ISBN 4-921146-60-8 ¥2200

来たるべき人類学

シリーズ

1/セックスの人類学

奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐二編 イルカやサル...

2/経済からの脱出

織田竜也・深田淳太郎編 われわれは何に囚われているのか?

人類学



実践と感情

開発人類学の展開

関根久雄 (筑波大学人文社会学系教授 編)

途上国における開発や近代化の実践の過程で、時に理性的な判断を阻害させる、関係者たち...



途上と目的地

スペイン・サンティアゴ

徒歩巡礼路 旅の民族誌

土井清美 (青山学院女子短期大学ほか講師)

目的地に至るまでの経験そのものに焦点をあて、歩くこととその周囲との相互作用を、長期かつ長距離にわたる緻密なフィールドワーク...

3/宗教の人類学

吉田匡典・石井美保・花湖馨也編 「理解しがたいのに、わたしたちに影のように寄り添っている」...

4/アジアの人類学

片岡樹・シンジルト・山田仁史編 アジアの捉え方、フィールドワーク論から始まり、「焼畑」「牧畜」...

現代アジアの宗教



現代アジアの宗教

社会主義を経た地域を読む

藤本透子 (国立民族学博物館助教 編)

カザフスタン、モンゴル、カンボジアなど社会主義政策を経た地域では、なぜ宗教が再活性化するのか...

聖なる鉄琴スロンの民族誌—バリ島トゥガナン・ブグリンシンガン村の生活、信仰、音楽...

Social Development, Culture, and Participation: Toward theorizing endogenous development in Tanzania...

シヨール・パフォーマンズが立ち上がる 大門碧 (京都大学非常勤研究員)

誰が差別をつくるのか—エチオピアに生きるカファ・ハンシヨの関係誌...

5/人と動物の人類学 奥野克巳・山口未花子・近藤社秋編...

ハワイ人とキリスト教—文化の混濁とアイデンティティの再創造...

Dominio provincial en el Imperio inca 渡部森哉...

Estructura en los Andes Antiguos 渡部森哉...

増殖するシャーマン—モンゴル・ブリアートのシャーマニズムとエスニシテ...

The Roots Seekers: Shamanism and Ethnicity among the Mongol Buryats...

エコツーリズムの民族誌—北タイ山地民カレへの生活世界...

「精霊の仕業」と「人の仕業」—ホルネオ島カリス社会における災い解釈と対処法...

インカ帝国の成立—先スペイン期アンデスの社会動態と構造...

ダワー・タンザニア、反乱と治療をもたらす謎の概念...

身体と境界の人類学 浮ヶ谷幸代...

ナシヨナリズムと宗教—現代インドのベン・ドゥー・ナシヨナリズム運動...

帝国医療と人類学 奥野克巳...

精霊の子供—コモロ諸島における憑依の民族誌...

癒しと呪いの人類学 板垣明美...

刊行予定

特別企画

◆ コミュニティ事典 編集委員：伊藤守、小泉秀樹...

▼ 随想 京都学派の歴史哲学 小野寺功...

▼ 哲学の断章 北岡崇 朝鮮儒学の巨匠たち...

▼ プレ・マルクス 庭園の美学 荒井芳廣...

▼ イツ 奥田良二 Contemporary Irish Plays...

▼ ネス再考 笹川洋子 帝国と文化...

▼ アバウト・ラブ 宮本啓子...

▼ ナレーション 栗原詩子...

▼ 英語入門 佐藤美弥子...

▼ 未松裕基編 赤いレトロな焙煎機...

▼ 光博 中国興業銀行の崩壊とその再建...

▼ ナム 社会を讀む 橋本和孝...

ことか八尾師誠、坂梨祥、齋藤正道...

▼ 盆哉川崎仁美「テレビニュースとジェンダー」...

▼ 小林直美「ケニヤに架けた虹の橋」...

▼ 友東京支部「インド・剥き出しの世界」...

▼ 一編「フォークロア」からの転回...

▼ 代「改訂版21世紀の社会認識に向けて」...

▼ 博「北タイ、チェンマイの霊媒集団とその宗教実践」...

▼ 編「カンボジア国際共同研究」...

▼ 遺産「田中英資「建築人類学」」...

▼ 力研究「浮ヶ谷幸代「Formation of the Mongolian Agricultural Village Society in Modern China」」...

▼ 美「一弥「パフォーマンスと異文化理解」」...

▼ 高橋寛人「現代ヨーロッパを理解するためのEU入門」...

▼ 久保康之編「春風接人」...

▼ 春風新聞 第七号 (二〇二五年一月二日発行)...